

「独身で家を買つたら結婚できなのはホントなのかな?」は

若いのにしっかり者なのか、それとも婚期を逃す因となるのか。

生涯未婚率が上昇する中、今や長期固定住宅ローン「フラット35」の利用者のうち、3人に1人が単身者。中でも、独身女性の利用率が増えているという。

住宅ローン最大手の「アルビ」によると、同社の「フラット35」を借り入れた独

身女性の平均年収は447万円(中央値は392万円)。ベラボウな高給取りというわけではないが、民間給与実態統計調査の女性平均272万円と比べてみると、所得水準は比較的高い女性たちだということが分かる。

低金利という状況もあり、平均借入金は2596万円もあった。



また、不動産情報「スマイスター」を運営するシースタイルが、独身時に住宅を購入したという男女にアンケートしたところ、購入時の年齢で最も多かったのが25歳未満の21・7%。女性に限れば、40%と高率だ。

「男女を通した購入の理由として一番多かったのが、『老後を考えて』の32%でした。次が『自分の城を持ちたい』『通勤や移動に便利』と続き、『一人暮らしを満喫したい』も約1割いました」(シースタイル担当者)

若い女性ほど束縛のない自由な居場所を求めて家を当者

◆男の名言
サイン・ボルト)

「オレが地球でナンバーワンだ」(ウ

これがひと昔前なら女の細腕で『しっかり者』と称賛されそうだが、その一方で最近は「独身で家を買うと結婚できない」というウワサもある。実のところはどうなのか。

シースタイルの調査データをのぞくと、47・2%がまだ独身。生涯未婚率(男性23%、女性14%)と比べても、明らかに高い。もちろん、これから結婚する人もいるだろうが、データ上は「家を買ったら結婚できない」はホントだった!娘を持つお父さんは心配になつてくる。